

会 議 資 料	<p>1. 開 会</p> <p>2. あ い さ つ</p> <p>3. 議 事</p> <p>協議事項1 次期導入形態の制度構築について 資料1</p> <p>協議事項2 上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書（案） 資料2</p> <p>協議事項3 上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書（案） 資料3</p> <p>協議事項4 上里町デマンド交通運行業務仕様書（案） 資料4</p> <p>4. そ の 他</p> <p>5. 閉 会</p>
配 布 資 料	<p>○資料1：次期導入形態の制度構築</p> <p>○資料2：上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書（案）</p> <p>○資料3：上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書（案）</p> <p>○資料4：上里町デマンド交通運行業務仕様書（案）</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
事務局	資料確認
議 長	<p>1. 開 会</p> <p>2. あ い さ つ</p> <p>3. 議 事</p>
議 長	議事に入る。初めに、協議事項1「次期導入形態の制度構築について」事務局より説明を求める。
事務局	資料1「次期導入形態の制度構築」を用いて説明。
議 長	この件について、委員より質問を受け付ける。
委 員	2 ページのアンケート結果について、今回実施したアンケートで読み取ることは難しいと思うが、日曜日運行を求める意見について、平日の運行が1日減ってでも日曜日運行を求めているのか今後確認する必要があるのではないか。また、「利用したい時間帯に運行していない」といった意見があるが、そもそも「こむぎっち号」は通勤・通学時間帯は運行しないこととしており、朝夕の通勤・通学時間帯以

外においても時間が合わないということであれば運行便数が不足しているということである。この点に関してはよく考える必要がある。

3 ページの利用者ヒアリングにおける自由意見に「バスロケーションシステムを導入してほしい」と記載があるが、何歳くらいの方の回答なのか。

中央ルートの日曜日運行に関しては、「こむぎっち号」の導入当初は家族の送迎が可能と想定される休日を除く週6日運行として運行を開始している。考え方を再度整理する必要があるのではないか。

停留所に関して、数を減らすならばルートの見直し等を行うこのタイミングしかない。後から減らすのは難しい。思い切った改革を行うのが良いのではないか。

ラウンドダイヤを導入するならば、便によって時刻が変わるとわかりづらくなるため、1・8便は減便しない方が良いのではないか。

運賃に関して、現在は4割の方が運賃無料となっているが、その方々の運賃を100円とすれば収入が増えることになる。運賃収入が厳しい中では、現在無料の方からも料金をいただくことを検討しても良いのではないか。

事務局

2 ページ目の日曜日運行に関するアンケートでは、日曜日運行を行うために平日の運行日を減らして良いかは分からないため、今後のアンケートの参考とさせていただく。

バスロケーションシステムの見解については、80代の方からの意見である。現状の「こむぎっち号」でそれほど遅れが出ているわけではないため、現時点では不要と考えている。

「こむぎっち号」を導入した当初は、土日は家族による送迎を想定し、週6日の運行としていた。しかし、実際に運行を開始すると日曜日運行の要望があがってきている。また、土日の運行については、町内や町外の方が商業施設やアグリパーク上里へアクセスできるように運行させることを考えている。

停留所に関しては、現在の運行ルート上にある停留所であれば、利用者がいなくても通過するだけで運行に影響はないため、減らす必要はないと考えている。

1・8便については、資料2の別紙2に記載のとおり、運行開始・終了時のイオンタウンからアグリパーク上里までの区間の短縮としており、現況で利用者が少なくラウンドダイヤにも影響しないと想定している。

運賃に関しては、現在の運賃無料の割引制度は継続していくことを考えている。

委員

ある自治体では、運賃無料となる割引制度の対象者が8割以上と増加している中、要望もどんどん増えており、運賃収入が減る中で要望は増える状況にある。運賃無料を継続する場合、その点は考慮すべきと考える。

委員

他の自治体の話だが、運賃無料のバスにずっと乗車している利用者があり、カスタマーハラスメントも発生している事例があり、対策として有料化することもひとつであると議論になっている。

また、最近のコミュニティバス等の事情として、改善基準告知による 2024 年問題等、全国的に運転手が不足している状況にあり、埼玉県内でも土日運行を減らしてほしいといった議論が出てきている。埼玉県内の状況として補足させていただく。

事務局

運賃に関しては、町の施策として現在無料で利用できている方は、変わらず無料で利用できるようにしたいと考えている。

日曜日運行に関しては、土日は平日より運行便数を減便する等、運行事業者の負担を軽減することで運行したいと考えている。

委員

中央ルートのアグリパーク上里の利用者は、北部・南部ルートから中央ルートに乗り継ぐ利用がほとんどである。そのため、アグリパークでの乗車が生じている。

中央ルートの運行ルートに関しては、カインズホームからイオンタウンの間の国道 17 号が時間帯によって混雑する。一つの案として、ワープ上里からイオンタウンに向かうルートとするか、国道 17 号と平行する旧中山道ヘルートを変更するのはどうか。

事務局

中央ルートのアグリパークの利用者に関しては、乗り継ぎのために利用している方がいることも把握しているが、利用目的等を見るとアグリパーク上里を利用している方がいることや、特に土曜日のアグリパーク上里行きの 1~3 便では、利用者が多くアグリパークを利用している方も多いと推測している。

委員

旧中山道は小学生の通学路となっている。また、上里町は交通事故が多いため、多少の渋滞があったとしてもバスは国道 17 号の大きい道路を通った方が地元の方々にとっては良いのではないかと。必ずしも旧中山道を通ることが良いとは言えないのではないかと。

事務局

運行ルート及びダイヤの詳細に関しては、ラウンドダイヤとすることを前提として、事業者決定後に試走の結果等も踏まえて改めて検討させていただきたい。

委員

デマンド交通に関して、ユニバーサルデザイン型の車両では車椅子の方が乗車すると車椅子の方を含めて 2 名までしか乗車できない。また、車椅子の方は介添えの方が一緒の場合もあるため、1 組で定員になってしまう。デマンド交通に変わることによって利用者の増加が期待される中で、予約が取りづらくなる可能性がある。車両について、運行事業者と十分協議したほうが良い。

運賃に関して、町外の方も町内の方と同一の料金とするのか。デマンド交通は上里町の税金によるところも大きいため、利用者登録を行うのであれば、町外の方の料金を上げて良いのではないかと。

予約方法について、LINE による予約はチャット形式で行うものか。人が対応するものであれば、人件費がかかるため、専用アプリ等により人手を必要としない予約

方法としたほうがよい。

事務局

車両に関しては、車椅子の方が車椅子のまま利用できる環境を整えているが、現在の「こむぎっち号」の利用状況では車椅子を利用されている方がほとんどいない状況である。また、デマンド交通の導入により利便性は向上するが、停留所までは移動する必要があるため利用者が大きく増えるとは想定していない。また、停留所を多く設置するためには狭い道路での乗降車も必要となることからできるだけ小型の車両とすることを考えている。

運賃に関しては、利用者によって料金が異なると運転手の負担が増えるため、シンプルな料金体系にしたいと考えている。今後、登録状況や利用状況から町外の方があまりにも多く町内の方が利用できない状況となる場合には、車両台数を増やすか運賃等で差を設けること等を検討していくこととする。

LINEによる予約に関しては、システム会社によって異なるが、LINEを入口として専用アプリに誘導するものや、LINE用のシステムを開発している場合もある。チャット形式ではなくシステムによる予約を想定している。

また、予約方法としては、電話予約とアプリによる予約の両方を可能とし、アプリによる予約であれば24時間受付可能であるため、アプリ予約の促進をしていくことで電話予約の負担軽減が可能と考えている。

委員

アンケートで運行時間に関する不満が出ることは仕方がないことである。

自分の乗りたいタイミングに運行していないことや、公共交通に予定を合わせないといけないことが不満と感じる人もいる。その点については、公共交通に合わせて動くことに慣れてもらうしかなく、啓蒙していくしかない。

中央ルートの運賃に関して、一般の運賃を200円に上げるのであれば小学生は半額にしてもよいのではないかと感じる。

中央ルートの運行ルートに関しては、カインズホームからイオンタウンまでの国道17号の区間は停留所がないためもったいないと感じる。別ルートで停留所を設置するのも良いのではないかと感じる。

協議会ではコミュニティバス等が話の中心になりがちだが、既存の鉄道や路線バスとどのように結びつけるかといった、公共交通全体の視点も重要である。現在、神保原駅では、駅舎を出て少し離れた場所に「こむぎっち号」の停留所がある。できれば公共交通同士の乗り換えは円滑にできた方が良いため、本来は駅舎を出てすぐの場所に停留所があることが望ましい。神保原駅北口のまちづくり計画の中で、鉄道とコミュニティバスの連携等について検討していると思うが、できるだけ早い段階で実現できると良い。

事務局

小学生の運賃については、来年度の計画策定に向け検討し、最終的には運賃協議会で決定したいと考えている。

神保原駅の北口の整備に関しては、駅北口の計画へ反映していく予定である。

委員 現在も運行経費や町の負担額が増加している中で、町として公共交通にどこまでお金をかけるのかを考えておく必要がある。

議長 それでは、協議事項1「次期導入形態の制度構築について」承認者の挙手を求める。

(挙手)

議長 委員全員の挙手により、協議事項1「次期導入形態の制度構築について」は原案のとおり承認された。

議長 次に、協議事項2「上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書(案)」について事務局より説明を求める。

事務局 資料2「上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書(案)」を用いて説明。

議長 この件について、委員より質問を受け付ける。

一同 なし。

議長 それでは、協議事項2「上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書(案)」について承認者の挙手を求める。

(挙手)

議長 委員全員の挙手により、協議事項2「上里町コミュニティバス「こむぎっち号」運行業務仕様書(案)」は原案のとおり承認された。事務局は運行事業者の選定に向け事務手続きを進め、次回の協議会時に報告を行うこと。

議長 次に、協議事項3「上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書(案)」及び協議事項4「上里町デマンド交通運行業務仕様書(案)」について事務局より説明を求める。

事務局 資料3「上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書(案)」、資料4「上里町デマンド交通運行業務仕様書(案)」を用いて説明。

議長 この件について、委員より質問を受け付ける。

一 同	なし。
議 長	<p>それでは、協議事項3「上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書（案）」及び協議事項4「上里町デマンド交通運行業務仕様書（案）」について承認者の挙手を求める。</p> <p>（挙手）</p>
議 長	<p>委員全員の挙手により、協議事項3「上里町デマンド交通運用システム導入支援業務委託仕様書（案）」及び協議事項4「上里町デマンド交通運行業務仕様書（案）」は原案のとおり承認された。事務局は事業者の選定に向け事務手続きを進め、次回の協議会時に報告を行うこと。また、デマンド交通の運行事業者選定に関しても、運行開始に間に合うように検討を進めること。</p>
	<p>4. そ の 他</p>
議 長	何か報告事項はあるか。
事務局	<p>12月の協議会にて説明した「上里町地域公共交通網形成計画」について、決定したものを配布している。運輸局に届出をした後に、令和6年4月1日に町のホームページで公表する予定である。</p> <p>また、次回協議会は6月の下旬を予定する。詳細については、改めて通知する。</p>
議 長	他の委員から何か意見はあるか。
委 員	中央ルートの運行ルートについて、旧中山道は小学校の通学路に指定されているが歩道が整備されていない状況であり、バスは通さないでほしい。
議 長	これで、協議事項はすべて終了とする。
事務局	<p>5. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>